

酪農ヘルパー業務電算システム

5-2.全国協会向け 運用手引書

5-2.全国協会向け 運用手引書

1. 最初に行うこと.....	5-2-1
1-1. ログイン.....	5-2-1
1-1-1. ユーザーIDとパスワードを入力する.....	5-2-1
2. 県団体提出ファイルの取込.....	5-2-2
2-1. 県団体提出ファイルの取込.....	5-2-2
2-1-1. 県団体から提出されたファイルの取込状況を確認する.....	5-2-2
2-1-2. 県団体から提出されたファイルの取込を行う.....	5-2-4
2-1-3. ファイル取込に失敗する場合.....	5-2-7
3. 全国団体提出用ファイルの出力.....	5-2-10
3-1. 全国団体提出用ファイルの出力.....	5-2-10
3-1-1. 酪農ヘルパー全国協会に提出するファイルの出力を行う.....	5-2-10
3-1-2. ファイル出力に失敗する場合.....	5-2-13
3-2. 出力ファイルの確認.....	5-2-14
3-2-1. 出力ファイルの確認.....	5-2-14
4. バックアップ、リストア.....	5-2-15
4-1. バックアップファイルの保存先の設定を行う.....	5-2-15
4-2. バックアップを行う.....	5-2-16
4-3. リストアを行う.....	5-2-17

1. 最初に行うこと

酪農ヘルパー業務電算システムを使うにあたって、必要な作業を説明します。

1-1. ログイン

酪農ヘルパー業務電算システムでは、起動時にユーザーID とパスワードによる認証を行います。

1-1-1. ユーザーID とパスワードを入力する

以下のユーザーID とパスワードを入力してください。

ユーザーID	300
パスワード	300

操作の詳細は、「酪農ヘルパー業務電算システム 5-1.全国協会向け 操作手引書」内「1. <<はじめに>>」をご確認ください。

2. 県団体提出ファイルの取込

県団体から提出されたファイルを取り込みます。この作業は四半期ごとに行います。

2-1. 県団体提出ファイルの取込

県団体から提出されたファイルを取り込みます。

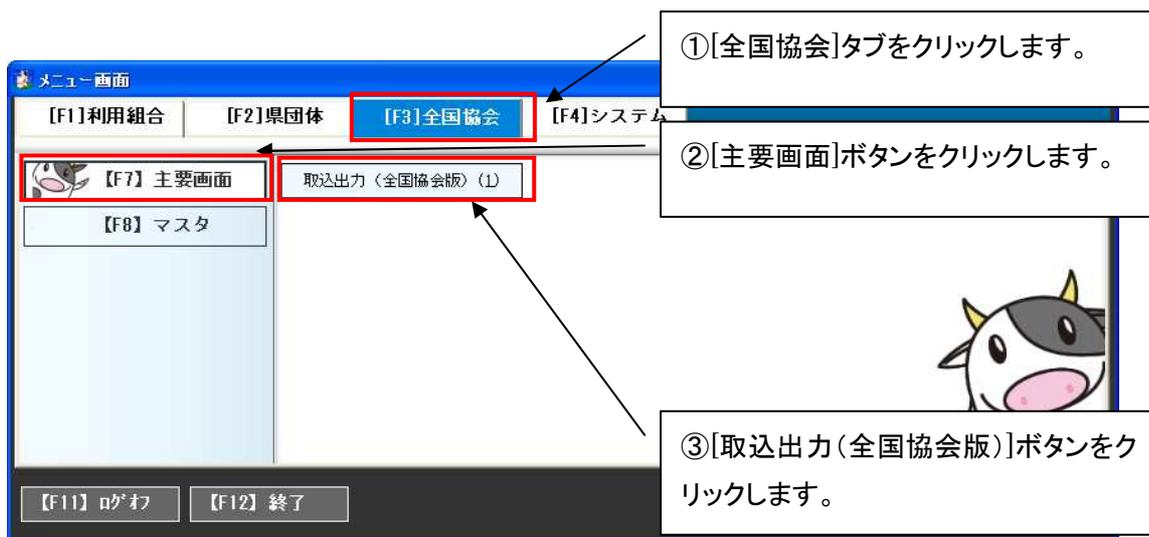
県団体からファイルを受け取り次第、この作業を行ってください。

取込ファイルは、「利用実績報告書」、「利用日数別農家戸数報告書」、「傷病利用報告書」の3種類です。

2-1-1. 県団体から提出されたファイルの取込状況を確認する

県団体から提出されたファイルの取込状況を確認します。

酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、ログイン後、メニュー画面の[全国協会]タブから[主要画面]ボタンをクリックしてメニューを開き、[取込出力(全国協会版)]ボタンをクリックします。



[取込出力(全国協会版)]ボタンをクリックすると、各種ファイル取込出力画面(全国協会版)が表示されます。

[年度]で、確認対象の年度を入力し、[取込ファイル選択]で、確認対象のファイルを選択します。

①[年度]を入力します。

②[取込ファイル選択]コンボボックスで確認対象のファイルを選択し、Enter キーを押します。

Enter キーを押すと、所属する県団体の一覧が表示されます。

取込済みの県団体の行には、該当の四半期の列に「○」と最終取込日が表示されます。

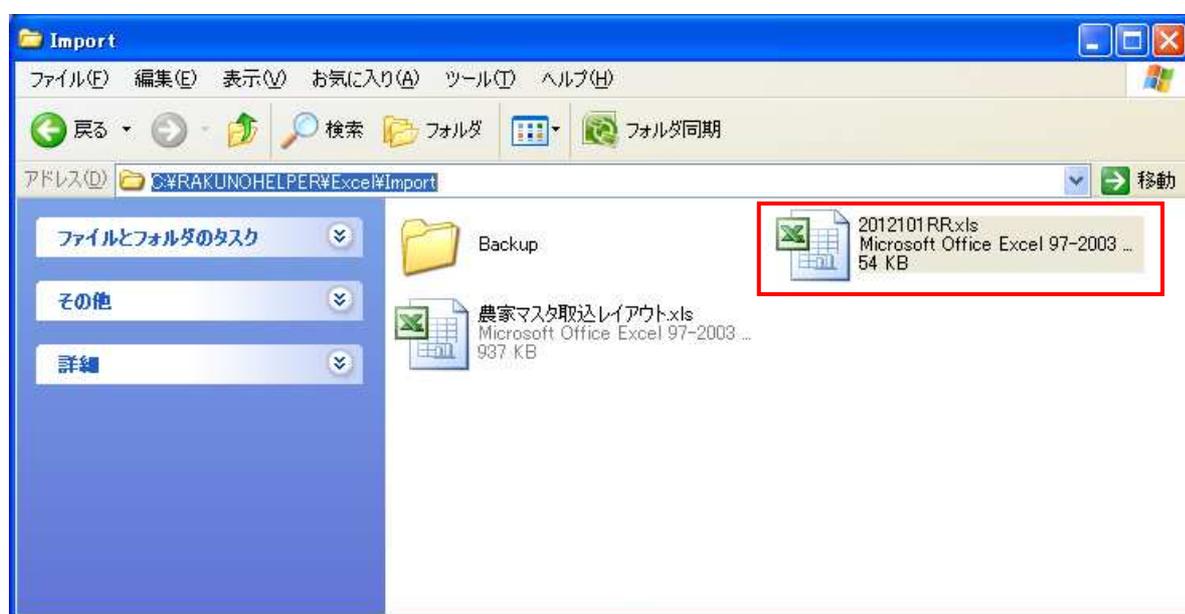
県コード	県名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
01	北海道	○	2013/03/04		
02	青森	○	2013/03/04		
03	岩手	○	2013/03/04		
04	宮城				
05	秋田				
06	山形				
07	福島				
08	茨城				
09	栃木				
10	群馬				
11	埼玉				
12	千葉				
13	東京				
14	神奈川				
15	新潟				
16	富山				
17	石川				
18	福井				
19	山梨				
20	長野				

2-1-2. 県団体から提出されたファイルの取込を行う

県団体から提出されたファイルを取り込みます。複数県団体から提出された、複数のファイルを一度に取り込むことができます。

初めに、取込対象のファイルを取込フォルダに配置してください。取込フォルダのパスの初期設定は<C:\RAKUNOHELPER\Excel\Import>となっており、コードメンテナンスのコード区分 9565 番「取込フォルダパス」で変更可能です。ファイルが複数ある場合は、すべてのファイルを配置してください。

初期のフォルダ構成については、「酪農ヘルパー業務電算システム 6.各種設定情報」内「1-1-1. インストール時のフォルダ構成」をご確認ください。



次に、対象の各種ファイル取込出力画面(全国協会版)を表示します。

表示方法については、本マニュアル「2-1-1. 県団体から提出されたファイルの取込状況を確認する」を参照してください。

[年度]で、取込年度を入力し、[取込ファイル選択]で、取込対象のファイルを選択します。

①[年度]を入力します。

②[取込ファイル選択]コンボボックスで取込対象のファイルを選択し、Enter キーを押します。

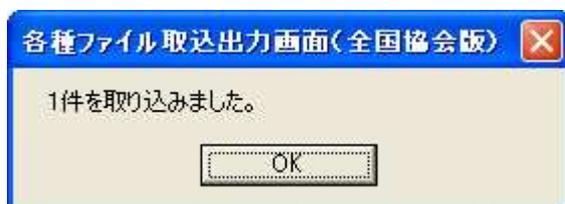
Enter キーを押すと、[取込]ボタン及び、所属する県団体の一覧が表示されます。

①[取込]ボタンをクリックします。

②取込済みのデータを上書きする場合は、[強制上書]にチェックを入れます。

県コード	県名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
01	北海道	○	2013/03/04		
02	青森	○	2013/03/04		
03	岩手	○	2013/03/04		
04	宮城				
05	秋田				
06	山形				
07	福島				
08	茨城				
09	栃木				
10	群馬				
11	埼玉				
12	千葉				
13	東京				
14	神奈川				
15	新潟				
16	富山				
17	石川				
18	福井				
19	山梨				
20	長野				

[取込]ボタンをクリックすると、既定のフォルダから、ファイル取込が行われます。
(既に取り込み済みのデータを強制的に上書きする場合は[取込]ボタンをクリックする前に[強制上書]にチェックを入れます。)

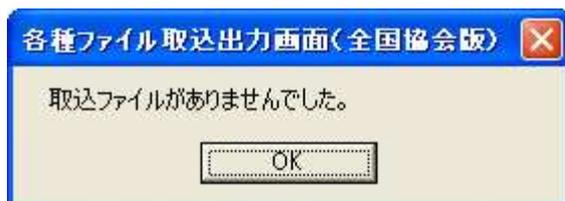


取込が完了すると、取込完了メッセージが表示されます。

2-1-3. ファイル取込に失敗する場合

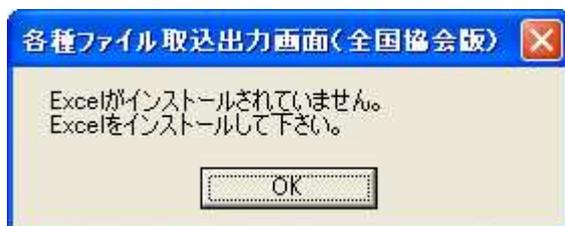
ファイル取込時にエラーとなる場合は、以下のエラーパターンを参照して対応してください。
パターンに当てはまらない場合、あるいは当てはまるが対応策を行っても取込が成功しない場合は、該当県団体が出力し直した Excel ファイルを再度取り込んでください。

- 「取込ファイルがありませんでした。」



ファイルが取込フォルダに存在することを確認してください。
存在する場合は、ファイル名の取込年度が画面の[年度]と一致していない可能性があります。正しい年度を画面で設定し、再度取込を行ってください。
年度が一致している場合は、拡張子(ファイル名の“.”以降)が正しくない場合があります。“.xls”に変更し、再度取込を行ってください。

- 「Excel がインストールされていません。Excel をインストールして下さい。」



Excel がインストールされていない端末では、この機能を利用することはできません。Excel をインストールし、再度取込を行ってください。

システムが対応している Excel のバージョンについては、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-3-1. サポートする Excel のバージョン」をご確認ください。

- 「ファイル命名規約にあっていません。」



ファイル名が正しくなければ取込は行われません。命名規約に基づいてファイル名を編集し、再度取込を行ってください。

命名規約については、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-3-2. 取込出力ファイル(報告書類)の命名規約」をご確認ください。

- 「県コードが登録されていません。」



ファイル名の県コードが間違っている可能性があります。命名規約に基づいてファイル名を編集し、再度取込を行ってください。

命名規約については、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-3-2. 取込出力ファイル(報告書類)の命名規約」をご確認ください。

- 「“ファイルパス” [“行数”, “列名”] “項目名”がエラーです。」



ファイルの該当項目の入力値が正しくない可能性があります。正しい内容を入力し、再度取込を行ってください。

入力内容については、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-3-3. 取込出力ファイル(報告書類)のフォーマット」をご確認ください。

-
- 「システム区分(…)、年度(…)、対象四半期(…)、県コード(…)、支庁コード(…)、協会集計コード(…)、県団体コード(…)は、既に登録されています。」



画面の[強制上書]にチェックが入っておらず、かつ既存のデータと取り込もうとしているデータに重複がある場合は、取込は行われません。ファイルが正しく、上書きを行う場合は、画面の[強制上書]にチェックをつけ、再度取込を行ってください。

3. 全国団体提出用ファイルの出力

システムから、取込データの集計ファイルを出力します。

3-1. 全国団体提出用ファイルの出力

県団体提出ファイルの取込データをもとに、集計ファイルを出力します。

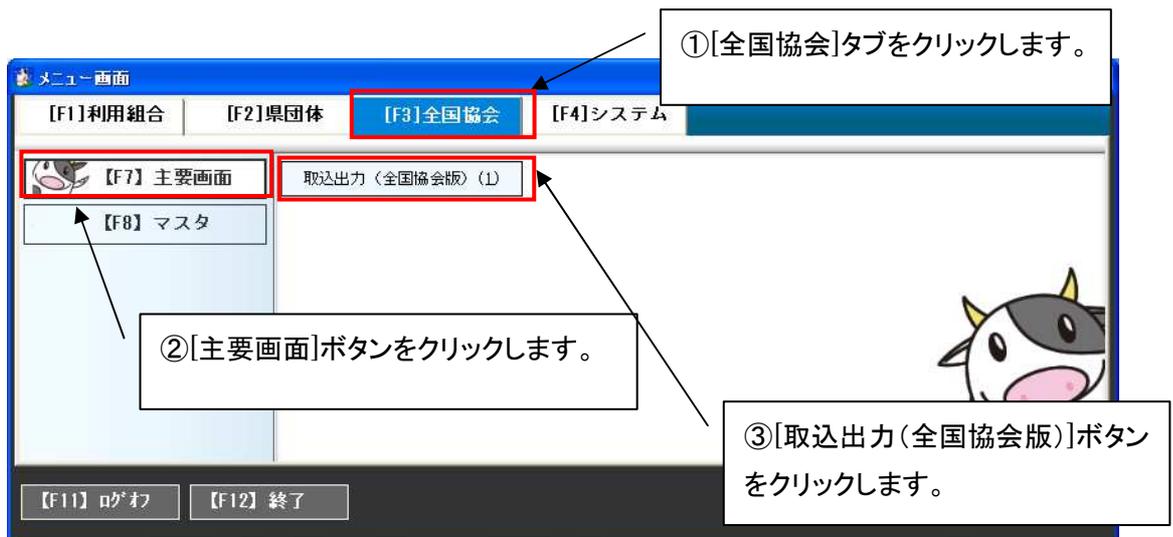
すべての県団体からの提出ファイルを取込後、出力を行ってください。

出力ファイルは、「利用実績報告書」、「利用日数別農家戸数報告書」、「傷病利用報告書」の3種類です。

3-1-1. 酪農ヘルパー全国協会に提出するファイルの出力を行う

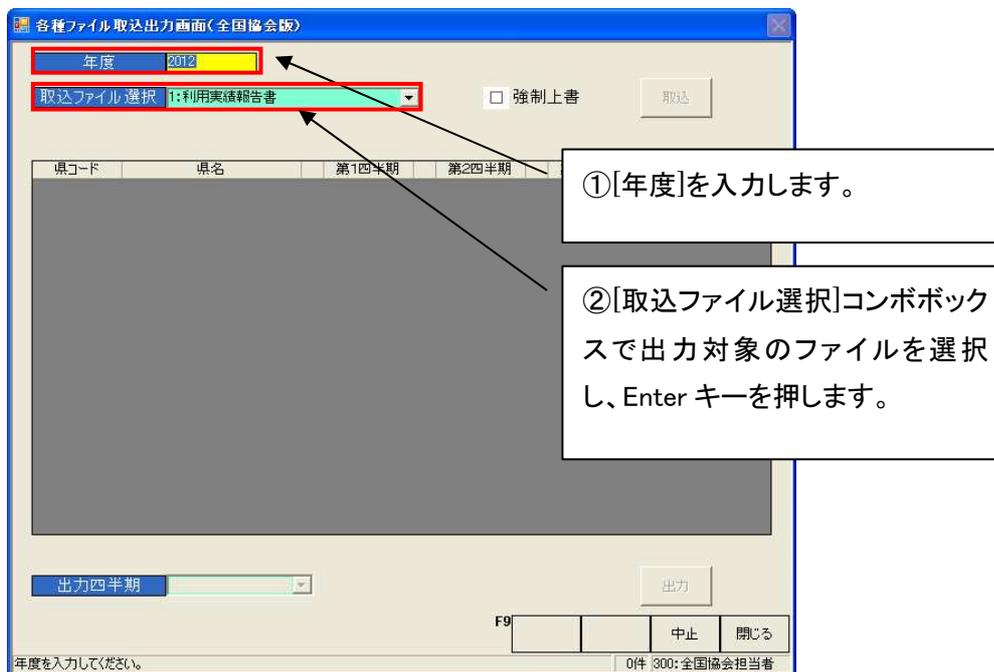
県団体提出ファイルの取込データをもとに、酪農ヘルパー全国協会提出用のファイルを出力します。

酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、ログイン後、メニュー画面の[全国協会]タブから[主要画面]ボタンをクリックしてメニューを開き、[取込出力(全国協会版)]ボタンをクリックします。



[取込出力(全国協会版)]ボタンをクリックすると、各種ファイル取込出力画面(全国協会版)が表示されます。

[年度]で、取込年度を入力し、[取込ファイル選択]で、出力対象のファイルを選択します。



Enter キーを押すと、[出力]ボタン(画面下部)及び、所属する県団体の一覧が表示されます。

出力対象の四半期のデータがすべての県団体で取込済みになっていることを確認し、[出力四半期]を選択します。

※未取込の県団体が存在する場合は、県団体にファイルを提出してもらい、取込を行ってからファイルを出力してください。

■ 利用実績報告書、利用日数別農家戸数報告書の場合

四半期ごとに出力します。ファイルの内容は第 1 四半期から画面で指定した四半期までの集計となります。

県コード	県名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
01	北海道	○ 2013/03/15			
02	青森	○ 2013/03/04			
03	岩手	○ 2013/03/04			
04	宮城	○ 2013/03/15			
05	秋田	○ 2013/03/15			
06	山形	○ 2013/03/15			
07	福島	○ 2013/03/15			
08	茨城	○ 2013/03/15			
09	栃木	○ 2013/03/15			
10	群馬	○ 2013/03/15			
11	埼玉	○ 2013/03/15			
12	千葉	○ 2013/03/15			
13	東京	○ 2013/03/15			
14	神奈川	○ 2013/03/15			
15	新潟	○ 2013/03/15			
16	富山	○ 2013/03/15			
17	石川	○ 2013/03/15			
18	福井	○ 2013/03/15			
19	山梨	○ 2013/03/15			
20	長野	○ 2013/03/15			

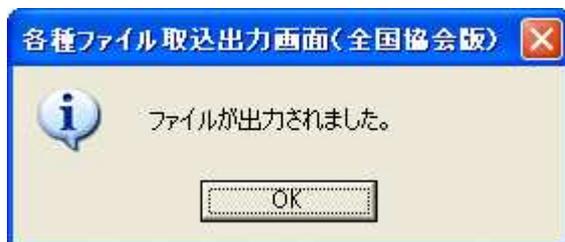
[出力四半期]でいずれかの四半期を選択し、[出力]ボタンをクリックすると、ファイル出力が行われます。

■ 傷病利用報告書の場合

四半期をまたいでの出力が可能です。

県コード	県名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
01	北海道	○ 2013/03/15			
02	青森	○ 2013/03/15			
03	岩手	○ 2013/03/15			
04	宮城	○ 2013/03/15			
05	秋田	○ 2013/03/15			
06	山形	○ 2013/03/15			
07	福島	○ 2013/03/15			
08	茨城	○ 2013/03/15			
09	栃木	○ 2013/03/15			
10	群馬	○ 2013/03/15			
11	埼玉	○ 2013/03/15			
12	千葉	○ 2013/03/15			
13	東京	○ 2013/03/15			
14	神奈川	○ 2013/03/15			
15	新潟	○ 2013/03/15			
16	富山	○ 2013/03/15			
17	石川	○ 2013/03/15			
18	福井	○ 2013/03/15			
19	山梨	○ 2013/03/15			
20	長野	○ 2013/03/15			

[出力四半期]で開始～終了の四半期を選択し、[出力]ボタンをクリックすると、ファイル出力が行われます。出力されるファイルは四半期ごとに作られます。



出力が完了すると、出力完了メッセージが表示されます。出力フォルダを参照し、出力されたファイルを確認してください。

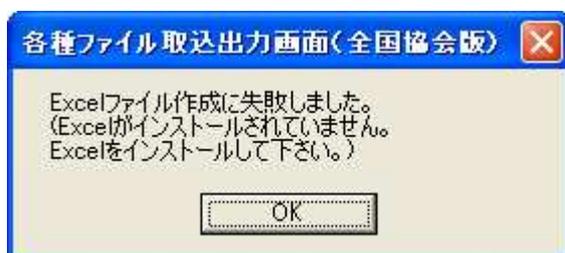
出力フォルダのパスの初期設定は<C:¥RAKUNOHELPER¥Excel¥Output>となっており、コードマスタメンテのコード区分 9551 番「出力フォルダパス」で変更可能です。

初期のフォルダ構成については、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-1-1. インストール時のフォルダ構成」をご確認ください。

3-1-2. ファイル出力に失敗する場合

ファイル出力時、エラーになる場合は、以下のエラーパターンを参照し、対応してください。

- 「Excel ファイル作成に失敗しました。(Excel がインストールされていません。Excel をインストールして下さい。)」



Excel がインストールされていない端末では、この機能を利用することはできません。Excel をインストールし、再度出力を行ってください。

システムが対応している Excel のバージョンについては、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-3-1. サポートする Excel のバージョン」をご確認ください。

3-2. 出力ファイルの確認

出力ファイルを確認します。

3-2-1. 出力ファイルの確認

出力フォルダを参照し、出力されたファイルを開き、内容の確認を行います。

出力フォルダのパスの初期設定は<C:¥RAKUNOHELPER¥Excel¥Output>となっており、コードマスタメンテの 9551 番「出力フォルダパス」で変更可能です。

【確認対象ファイル】

- 利用実績報告書
 ファイル名の 6~7 文字目が“RR”のファイル
- 利用日数別農家戸数報告書
 ファイル名の 6~7 文字目が“DR”のファイル
- 傷病利用報告書
 ファイル名の 6~7 文字目が“SR”のファイル

ファイルの内容については、「酪農ヘルパー業務電算システム 6. 各種設定情報」内「1-3-3. 取込出力ファイル(報告書類)のフォーマット」をご確認ください。

4. バックアップ、リストア

入力したデータの複製を作成することをバックアップといいます。バックアップを行うとバックアップファイルが作成されます。そのバックアップファイルを使ってデータを元に戻すことをリストアといいます。イニシャルマスタメンテの夕朝オプションを変更する前や、パソコンのセットアップを行う際には、バックアップを取ることをお勧めします。

4-1. バックアップファイルの保存先の設定を行う

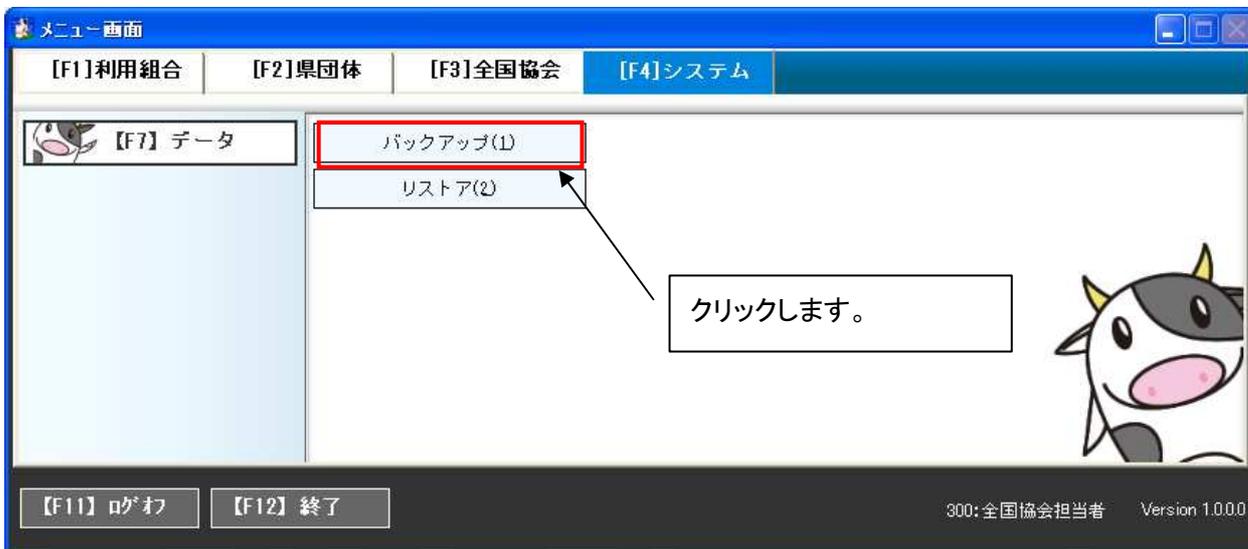
バックアップファイルの保存先は、あらかじめコードマスタメンテのコード区分 9545 番で設定されています。

コード	コード名称	デフォルト区分
1	C:¥RAKUNOHELPER¥DBBackup¥	<input checked="" type="checkbox"/>

初期値として<C:¥RAKUNOHELPER¥DBBackup¥>が設定されています。このフォルダにバックアップファイルが作成されます。

4-2. バックアップを行う

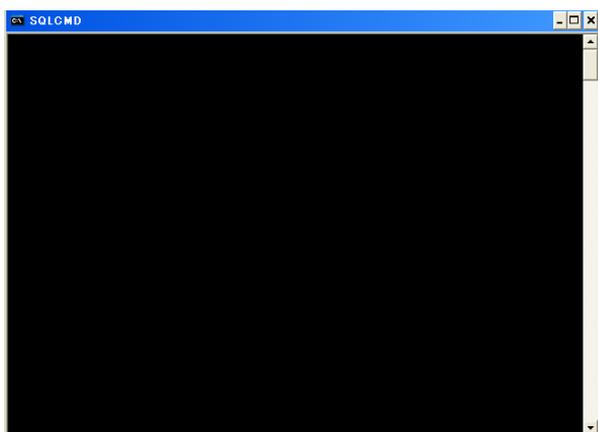
酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、ログイン後、メニュー画面の[システム]タブから[データ]ボタンをクリックしてメニューを開き、[バックアップ]ボタンをクリックします。



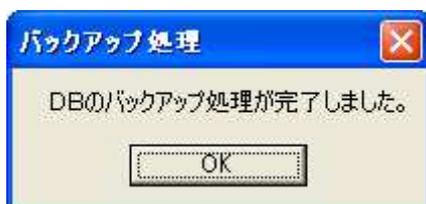
[バックアップ]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。



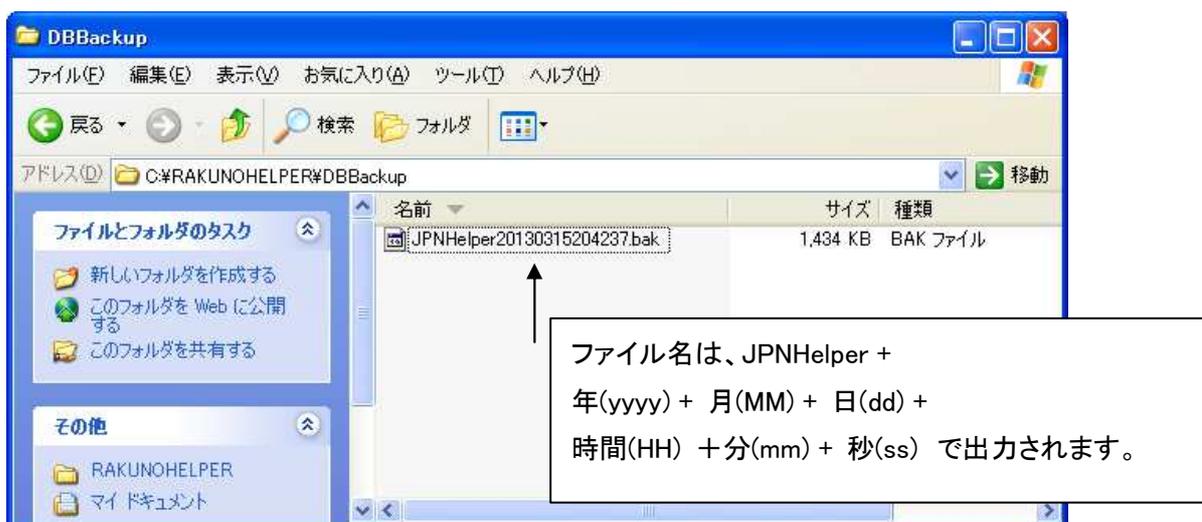
[OK]ボタンをクリックすると、黒いウィンドウが表示されます。



黒いウィンドウは数秒で自動的に消え、完了メッセージが表示されます。



これでバックアップが完了しました。コードマスタメンテで設定されている保存先に、バックアップファイルができていることを確認します。



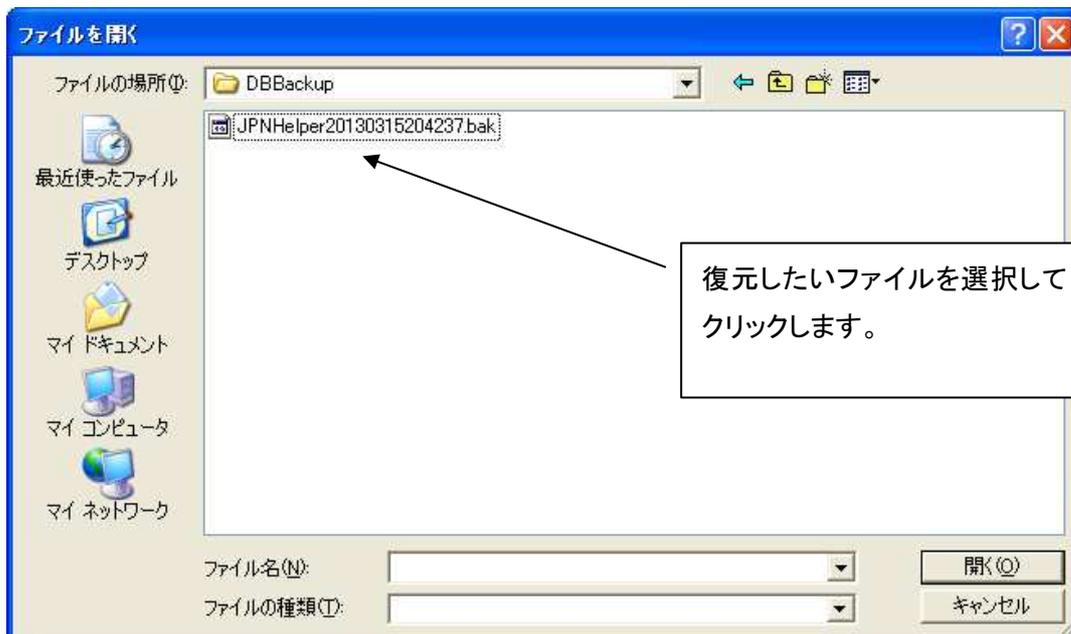
- ※ このデータには個人情報が含まれています。取り扱いには充分注意してください。セキュリティ事故があっても責任を負いかねます。
- ※ パソコンの故障等が原因でこのファイルが破損・消去した場合、データの復元が出来なくなります。別のパソコンや記憶媒体へ保存してください。バックアップファイルが無くなりデータの復旧が出来ない場合でも、責任を負いかねます。

4-3. リストアを行う

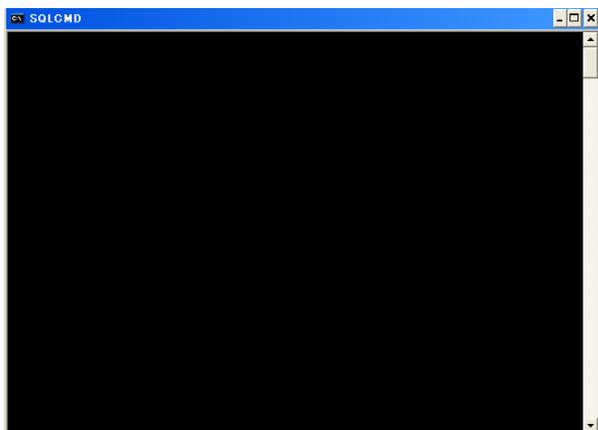
酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、ログイン後、メニュー画面の[システム]タブから[データ]ボタンをクリックしてメニューを開き、[リストア]ボタンをクリックします。[リストア] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。



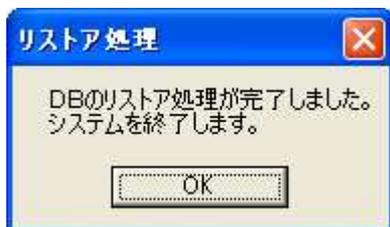
[OK]ボタンをクリックすると、バックアップファイルを選択する画面が表示されます。



バックアップで作成したファイルをクリックし、[開く]ボタンをクリックします。
黒いウィンドウが表示されます。



黒いウィンドウは数秒で自動的に消え、完了メッセージが表示されます。



これでリストア処理が完了しました。一旦、酪農ヘルパー業務電算システムは自動的に終了します。酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、データが復元されていることを確認してください。